

事業名	赤潮発生状況
予算区分	受託試験研究費(国補)・県単
事業実施期間	(継続事業)
担当者	(環境増養殖担当) 嵐俊右、朝田健斗、棚田教生
共同研究機関等	

<目的>

令和4年に徳島県沿岸域で発生した赤潮について、公式に記録することを目的とする。

<方法>

漁場環境調査等における観測や漁業者からの聞き取りを元に、赤潮の発生期間、発生海域、赤潮構成種及び漁業被害についてまとめた。

<結果>

表1に令和4年の赤潮発生状況、図1に赤潮発生件数と被害件数の推移、図2に赤潮発生海域をそれぞれ示した。令和4年は、3件の赤潮が発生したが、いずれも漁業被害は無かった。

表1. 令和4年の赤潮発生状況

番号	発生期間	日数	発生海域	赤潮構成種	漁業被害	最高細胞密度 (cells/mL)
1	1/11~2/8	29	吉野川下流域	クリプト藻(種不明)	無	21,300
2	4/4~4/19	16	鳴門市北灘町沿岸	<i>Noctiluca scintillans</i>	無	290
3	7/8~7/12	5	小松島市和田島町から阿南市那賀川にかけての沿岸域	<i>Heterosigma akashiwo</i>	無	9,000

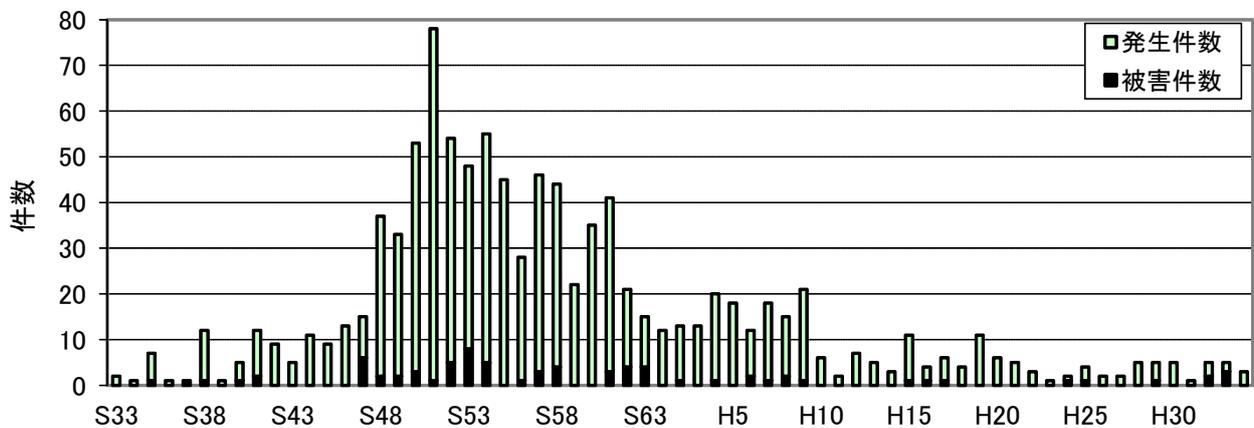


図1. 赤潮の発生件数と被害件数の推移

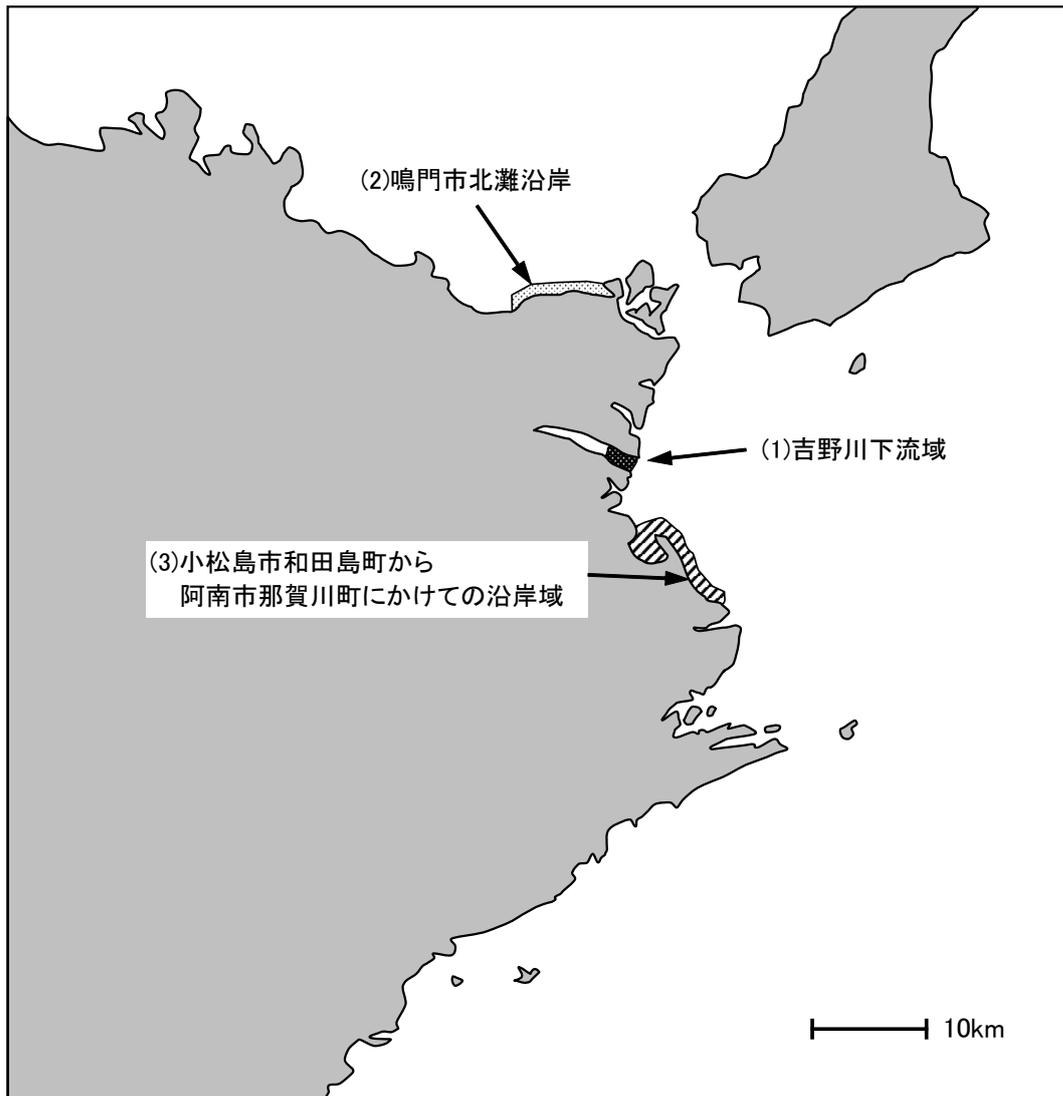


図2. 赤潮発生海域。図中の番号は表1に示した赤潮の番号を示している。

< 今後の課題 >

特になし。

< 次年度の計画 >

継続する。

< 結果の発表・活用状況等 >

得られた知見やデータは水産振興課と情報共有を行い、赤潮情報は水産庁に報告した。